表 令和6年5月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第37～45号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	噴火活動が継続。南岳山頂火口の爆発、噴火、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映は観測されていない。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量（7日、17日、30日）は、2000、700、2000トン/日で、やや少ない～多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS連続観測では、島内の一部の基線で2023年1月頃から山体膨張とみられるわずかな伸びが認められたが、同年4月頃から停滞。始良カルデラ（鹿児島湾奥部）を挟む基線では、長期にわたり地下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみられる。始良カルデラ地下深部にマグマが蓄積した状態で、火山ガス放出量も概ね多いことから、今後噴火活動が再び活発化すると考えられる。
		降灰予報(速報)	20日 01時40分 22日 17時31分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	20日 01時56分 22日 17時45分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 火口周辺規制)	解説情報 第40～48号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日 16時00分 27日 16時05分 31日 16時00分	古岳火口付近浅部の火山性地震は多い状態。新岳付近の火山性地震は少ない状態。新岳火口で白色噴煙を観測。火山ガス（二酸化硫黄）放出量は少ない状態。 GNSS観測で、2023年11月頃にかけてみられた古岳付近の膨張を示す変動で膨張した状態が維持されている。 火口付近浅部の地震活動はやや活発で、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量や古岳の地熱活動は2023年6月からの活動以前の状態より高まった状態で推移。新岳火口及び古岳火口の周辺において噴火が発生する可能性がある。

令和6年5月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
阿蘇山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報(臨時) 第19～20号	15日 09時20分, 35分	15日 06時過ぎから火山性微動の振幅がやや大きい。9日の火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は1600トン/日でやや多い。活動がやや高まっている可能性あり。
		火口周辺警報	15日 10時30分	15日 09時過ぎから火山性微動の振幅が1.5μm/sを超えてやや大きい状態で継続。9日の火山ガス(二酸化硫黄)の放出量が1600トン/日でやや多い。火山活動が高まっている。中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火の可能性はある。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第21～26号	15日 11時25分 15日 16時30分 16日、17日、24日 16時00分 27日 13時45分	火山性微動の振幅が15日06時過ぎからやや大きくなり、その後、増減を繰り返し、16日07時頃からは小さな状態。27日10時頃から振幅が増減を繰り返す。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は15日以降少ない状態。火山性微動の一時的な増大により火山活動に高まりが認められる。中岳第一火口から概ね1kmの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性がある。
		解説情報(臨時) 第27～29号	27日 15時25分 28日、29日 16時00分	火山性微動の振幅が27日10時頃から増大し14時頃にさらに増大し急激に減少。その後は増減を繰り返し大きな状態、28日に入り低下傾向がみられ20時過ぎから小さな状態。29日、機動調査班の現地調査で火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は1000トン/日と前回から急激な増加はみられず。地殻変動観測では特段の変化は認められず。火山活動のさらなる活発化は認められない。
		解説情報 第30号	31日 16時00分	火山性微動の振幅は31日に一時的にやや大きくなったが、概ね小さい状態。中岳第一火口では、5日以降、火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は500～から1600トン/日で推移。15日以降、火山性微動の振幅に時々増大がみられ、火山活動に高まりが認められる。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第36～44号	3日、6日、10日、13日、17日、20日、24日、27日、31日 16時00分	火山性地震は、4月中旬以降増加。2023年11月頃より停滞していた山体の西側での膨張を示すと考えられる傾斜変動が、3月中旬から再び認められている。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は2023年3月以前に比べて多い状態。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第19～22号	6日、13日、20日 16時00分 27日 16時05分	火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測で島内の一部の基線で2023年10月頃から縮みの変化がみられる。噴煙、火映、地殻変動等の火山活動の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第25～28号	6日、13日、20日 16時00分 27日 16時05分	噴火活動が継続。爆発及び大きな噴石の飛散、噴煙、火映の状況。集落周辺での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。GNSSでは、島の西側深部におけるマグマの蓄積量の増加を示す変動は認められない。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、阿蘇山、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を發表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を發表している。阿蘇山では15日11時に開始した。